

2025年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻

南西アジアと結ぶグリーン・サステナブル・ケミストリー

特別プログラム学生募集要項

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻（南西アジアと結ぶグリーン・サステナブル・ケミストリー特別プログラム）においては、工学に関する研究を行う学生を下記により募集する。

I 設置目的

南西アジア（インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ）からの留学生を中心に、博士課程と連結した実践的な専門教育と研究指導を行い、持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえたグリーン・サステナブル・ケミストリーに寄与する研究者を育成する。

II 教育方法

本プログラムの学生は、2年間の博士前期課程において30単位以上修得し、学位論文を提出し、その審査及び最終試験に合格すれば、修士（工学）の学位を授与する。

本プログラムにおいては、開設する授業科目及び研究指導をすべて英語で行う。

III 教育研究分野及び募集人員

1. 教育研究分野

教育研究分野の決定に当たっては、別添の教育研究分野一覧から選択すること。

2. 募集人員

大学推薦による国費外国人留学生（研究留学生[特別枠]） 1名

私費外国人留学生及び日本人学生 若干名

IV 出願資格及び条件

1. 対象および国籍

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 大学院レベルの外国人留学生として新たに海外から留学する者

(2) 日本国籍を有する者

※ 外国人留学生においては、南西アジア（インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ）の国籍を有すること。

※ 出願時に日本国籍を有する者は、国費外国人留学生の推薦候補者とししない。

2. 年齢

（大学推薦による国費外国人留学生採用を希望する者）

1990年4月2日以降に出生した者。

3. 渡日時期

（外国人留学生のみ）

2025年10月1日（水）から数えて前後2週間のうち、鳥取大学が指定する期日までに渡日可能な者。

ただし、やむを得ない事情により指定の期日までに渡日できない場合は、工学部教務係まで早急に連絡すること。

4. 学歴

次の各号のいずれかに該当する者

(1) 大学を卒業した者及び2025年9月までに卒業見込みの者

(2) 学校教育法第104条第7項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構

から学士の学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者

- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって（5）の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2025年9月までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2025年9月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号による）
- (9) 本研究科において、個別の出願資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者及び2025年9月30日までに22歳に達する者
- (10) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者

なお、上記（9）又は（10）により出願する場合は、あらかじめ資格審査を行うため、主担当予定教員を通して鳥取大学工学部教務係で所定の申請書を受け取り、2024年12月20日（金）までに提出すること。審査結果は、2024年12月27日（金）までに通知する。

5. 健康

心身ともに大学における学業に支障がないこと。

受験上および修学上の配慮を希望する場合は、2024年12月20日（金）までに工学部教務係（E-mail: en-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp）にメールで照会し、申し出ること。

6. 語学力

研究指導等は主として英語で行うことから、以下のいずれかの条件を満たす者。

- (1) 英語におけるヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)の B2 相当以上の資格・検定試験のスコアを有している者。
- (2) 日本の大学院博士課程(前期)への入学資格を満たす教育課程を、英語を主要言語として修了した者。
- (3) (1) 相当以上の英語能力を有していると専攻において判断できる者。

7. 注意事項

- (1) 大学推薦による国費外国人留学生採用を希望する者は、文部科学省の募集要項で資格及び条件を確認すること。
- (2) 大学推薦による国費外国人留学生採用を希望する者のうち、次に掲げる者については、出願対象外とする。国費外国人留学生採用以降に判明した場合には辞退すること。
 - ① 渡日時及び奨学金支給期間において、現役軍人または軍属の資格の者。
 - ② 本学の指定する期日までに渡日できない者。
 - ③ 過去に日本政府（文部科学省）奨学金留学生であった者（学籍発生後辞退者を含む）。

ただし、以下のいずれかに該当する場合はこの限りではない。なお、文部科学省学習奨励費は日本政府（文部科学省）奨学金留学生にはあたらないため、過去に受給歴があっても応募可能。

- ・奨学金支給最終月の翌月から奨学金支給開始月までに3年以上の学業又は職務経歴がある者。
 - ・最後に受給した日本政府（文部科学省）奨学金が日本語・日本文化研修留学生（帰国後、在籍大学を卒業した又は卒業見込みの者に限る）、日韓共同理工系学部留学生及びヤング・リーダーズ・プログラム留学生のいずれかであった者。
 - ・日本政府（文部科学省）奨学金（大学推薦・特別枠）の学部生として学士の学位を取得（又は取得見込みの者）した者。
- ④ 現在、日本政府（文部科学省）奨学金制度による他の2025年度奨学金支給開始のプログラムとの重複申請をしている者。
- ⑤ 申請時に既に在留資格「留学」で日本の大学等に在籍している者及び申請時から奨学金支給期間開始前に私費外国人留学生として日本の大学等に在籍、または在籍予定の者。ただし、申請時に日本に留学中の私費外国人留学生であっても、修了し、本制度による奨学金支給期間開始までに一度帰国することが確実な者はこの限りではない。
- ⑥ 奨学金支給開始後（鳥取大学における学籍等発生後）に日本政府（文部科学省）及び日本政府関係機関拠出の奨学金・フェローシップ等の受給することを予定している者。
- ⑦ 「卒業見込みの者」であって、所定の期日までに学歴の資格及び条件が満たされない者。
- ⑧ 申請時に二重国籍者で、渡日時までに日本国籍を離脱したことを証明できない者。
- ⑨ 申請時から日本以外でのフィールドワーク、インターンシップ等を希望している者。
- (3) 鳥取大学大学院工学研究科博士課程への進学意志のある者であることが望ましい。但し、鳥取大学大学院工学研究科博士課程への進学の意志がある者でも、博士前期課程を修了した段階（2年間）で成績が優秀でない場合は、進学することはできない。

V 出願手続

1. 出願期間

入学志願者は、出願書類を2025年1月6日（月）から2025年1月20日（月）（必着）までに、指導予定教員を通して鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科へ提出すること。個人での出願は受け付けない。

2. 出願書類

- (1) 2025年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程工学専攻南西アジアと結ぶグリーン・サステイナブル・ケミストリー特別プログラム
入学願書（所定の様式）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (2) 日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書（両面印刷）・・・・・・・・・・・・・正本1部
（外国人留学生のみ提出すること。）
- (3) 専攻分野及び研究計画（別紙）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (4) 健康診断書（最近6か月以内に受診したもの）・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (5) 誓約書（所定の様式）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (6) 最終出身大学（学部及び大学院）の成績証明書（出身大学で発行したもの）・正本1部
- (7) 最終出身大学（学部及び大学院）の卒業（見込）証明書・・・・・・・・・・・・・正本1部
- (8) 本人の戸籍身分を証明する書類（例えば、パスポートや本国の戸籍謄本）・・・・・写し1部
- (9) 所属大学等の研究科長レベル以上の推薦書（鳥取大学長あてのもの）・・・・・・・・・正本1部
（なお、英語能力は優秀であり、英語での授業を理解できることも必ず明記すること。）
- (10) 写真（最近6か月以内に撮影したもので4.5×3.5cm、上半身、正面、
無帽、裏面に国籍及び氏名を記入し出願書類所定の場所に添付のこと。）・・・・・・・・・3枚
- (11) 最終出身大学において学業成績が優秀であることを証明する書類・・・・・・・・・・・・・正本1部
（例えば、GPA、ABCのクラス分け、具体的な順位（〇人中第〇位）等、
最終出身大学における成績が明確に判る指標）

- (12) 学位論文概要等 写し 1 部
- ① 卒業者は卒業論文の写し、ただし論文がない場合はこれに代わるもの。
 - ② 卒業見込みの者は、研究経過報告書。
 - ③ 上記以外の既発表論文の別刷、投稿中論文の写し及びこれまでの研究業績が明らかとなるもの。
 - ④ 上記①) 及び③) については、論文の内容を簡潔にまとめたものを添付すること。
- (13) TOEFLiBT, TOEIC L&R/TOEIC S&W, IELTS, GTEC, ケンブリッジ英検, TEAP, TEAP CBT 実用英語技能検定試験のいずれかの英語能力を証明する成績表 写し 1 部 (上記以外の英語能力を証明する成績表を提出しようとする者は、願書出願前に工学部教務係へ相談すること。)
- (14) 検定料：30,000円
- 検定料は、2024年12月19日(木)から2025年1月20日(月)までの期間に振り込みをすること。また、検定料の振り込み方法については、必ず2024年12月26日(木)までに工学部教務係 (E-mail: en-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp) にメールで照会し、確認を行うこと。
- 検定料については、出願時に国費外国人留学生の身分を保持していない場合は、一旦納入する必要があるが、国費外国人留学生として採用された後、入学後に返金される。なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。
- (ア) 検定料を振り込んだが出願しなかった(出願書類を提出しなかった) 場合
 - (イ) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合
 - (ウ) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- 上記(ア)～(ウ)に該当する場合は、必ず工学部教務係 (E-mail: en-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp) へ連絡すること。
(返還方法等の詳細については、メールで通知する。)

3. 出願についての注意事項

- (1) 入学志願者は、インターネット等を利用した口述試験を受けること。口述試験は、2025年1月23日(木)から2025年1月31日(金)までの期間に実施する。
- (2) 出願書類は、英語により、できる限り PC を用いてすべて A4 サイズに統一して作成すること。
- (3) 出願書類がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、又は提出期限を過ぎたものは一切受理しない。
- (4) 入学志願者は、入学願書に希望する指導予定教員名を記入しなければならない。指導教員と教育研究分野は、別添の教育研究分野一覧から選択すること。なお、入学願書に指導予定教員名の記入のない場合は、審査することができないので特に注意すること。
- (5) 入学志願者は、指導予定教員と密接な連絡をとって、研究計画を作成しなければならない。
- (6) 学業成績については、最終出身大学(学部及び大学院)の学業成績が2.30以上でなければならない。
- (7) 提出書類の返却はしない。

4. 選抜の方法等

- (1) 書類審査および口述試験
 - ① 本専攻は、提出された出願書類およびインターネット等を利用した口述試験により合格者を決定する。
 - ② 合格した者の中から、国費外国人留学生候補者を選考し、文部科学省に推薦する。
- (2) 合格発表及び国費外国人留学生推薦候補者選抜結果通知
 - ① 合格発表は、2025年2月21日(金)11時に、本学ホームページに合格者の受験番号を掲載するとともに、本人あてに「合格通知書」を郵送する。なお、合格通知時に日本国外に居住する者には、別途 E-mail によりデータを送信する。
 - ② 国費外国人留学生推薦候補者選抜結果通知は、大学推薦による国費外国人留学生採用を希望する者に E-mail により 2025年2月21日(金)に送信する。

なお、正式な国費外国人留学生としての採用結果は、文部科学省の採用結果が届き次第（2025年7月中旬予定）、本人に通知する。

Ⅵ 入学手続き等について

【大学推薦による国費外国人留学生】

1. 入学手続きについて

入学手続きの方法等詳細については、2025年8月頃に国費外国人留学生採用者に直接通知する。

2. 国費外国人留学生の奨学金等について

詳細な情報については、文部科学省の募集要項を参照すること。

(1) 奨学金

2025年度の奨学金月額額は144,000円（予定額）

(2) 奨学金支給期間

2025年10月から2027年9月までの2年間

(3) 旅費

① 渡日旅費：文部科学省は、原則として旅行日程及び経路を指定して、渡日する留学生の居住地最寄りの国際空港（原則、国籍国内）から成田国際空港、または鳥取大学が通常の経路で日本に到着する際の国際空港までの下級航空券を交付する。なお、渡日する留学生の居住地から最寄りの国際空港までの旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、日本国内の旅費（航空機の乗り継ぎ費用を含む。）等は留学生の自己負担とする。

② 帰国旅費：文部科学省は、奨学金支給期間終了月内に帰国する留学生については、本人の申請に基づき、成田国際空港、または鳥取大学が通常の経路で使用する国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港（原則、国籍国内）までの下級航空券を交付する。

（注1）渡日及び帰国旅行の際の保険金等は、留学生の自己負担とする。

（注2）奨学金支給期間終了後、引き続き日本に滞在し、一時帰国する際の帰国旅費は支給しない。

(4) 授業料等

入学科及び授業料は徴収しない。

(5) 次の場合には、原則として奨学金の支給を取り止める。また、これらに該当するにもかかわらず奨学金を受給した場合、該当する期間に係る奨学金の返納を命じることがある。

① 申請書類等に虚偽の記載があることが判明したとき。

② 文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。

③ 日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。

④ 大学において退学等の懲戒処分を受けたとき、あるいは除籍となったとき。（なお、大学において処分を決定するまでの間、奨学金の支給を止めることもある。）

⑤ 学業成績等不良や停学、休学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。

⑥ 入管法別表第一の四に定める「留学」の在留資格が他の在留資格に変更になったとき。

⑦ 他の奨学金（使途が研究費として特定されているものを除く。）の支給を受けたとき。

⑧ 採用後定められた奨学金支給期間延長の承認を受けずに上位の課程に進学したとき。

⑨ 当該大学を退学したとき又は他の大学院に転学したとき。

⑩ 1年毎の各時点における学業成績係数が2.30又は大学が定める成績基準を下回ったとき。

【私費外国人留学生及び日本人学生】

1. 入学手続きについて

入学手続きの方法等の詳細については、2025年8月頃に合格者あてに通知する。

- (1) 手続書類等
個人調書, 学生証用写真台紙等
- (2) 入学料 282,000円(予定額)
納入方法については, 合格者あてに通知する。
- (3) 授業料
年額535,800円
〔前期分 267,900円 後期分 267,900円〕(予定額)
 - ① 納入時期は, 前期は5月, 後期は11月。
 - ② 納入方法については, 合格者あてに通知する。(注) ア 既納の入学料は, いかなる理由があっても返還しない。
イ 入学料, 授業料の免除(又は徴収猶予)を希望する場合は, 入学手続時に納入しないこと。
ウ 入学料, 授業料は予定額。入学時及び在学中に改定があった場合は, 改定後の入学料, 授業料を納入すること。

【外国人学生向け保険制度(国費・私費共通)】

1. 学生教育研究災害傷害保険制度

入学後に大学生活を安心して過ごせるよう, 学生教育研究災害傷害保険制度(学研災)及び留学生向け学研災付帯学生生活総合保険(留学生用保険)に加入すること。補償内容と保険料は次のとおり。各保険の詳細については, 各担当へ問い合わせること。

(1) 学研災

この保険は, 正課中, 課外活動中又は大学構内あるいは通学途中に被った不慮の事故で死亡, 負傷した場合に支払われる傷害保険である。

- ・保険料(2年間): 1,750円
- ・担当: 保健管理センター (E-mail hokekan-jimu@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

(2) 留学生用保険

この保険は, 個人賠償や後遺障害, 日常生活のケガの治療費, 救援者費用, 住居の家財が偶然の事故で損害を受けた場合等, 学生生活を幅広くサポートする保険である。

- ・保険料(2年間): 加入タイプにより異なる
- ・担当: 国際交流課
(Tel+81-(0857)31-5056, E-mail kokuko-gaku@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

VII 注意事項

1. 留学生は渡日に先立ち, 日本の風土, 習慣, 気候, 大学の状況についてあらかじめ研究しておくことが望ましい。また, 日常生活は日本語での生活になることについて十分理解しておくこと。
2. 提出書類等の記載事項に虚偽の記入がある場合には入学後でも入学許可を取り消すことがある。
3. 大学推薦による国費留学生採用を希望する者は, 2025年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生募集要項(研究留学生・学部留学生(大学推薦)[特別枠])を熟読の上, 出願すること。

入学者の受入れの方針

【持続性社会創生科学研究科】

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程では、次のような人を広く受け入れます。

1. 地域学、工学、農学または国際乾燥地科学に関する学士課程の専門知識・技術等を身につけている人
2. 持続性社会の創生に対する地球規模の課題と地域の課題に関して、幅広い視野と深い知識の修得を志す人
3. 高い倫理観を身につけて、持続性社会の創生と発展に他者と共同して貢献することを志す人
4. 持続性社会を創生するために、それぞれの専門性を生かし、他分野との連携を図るコミュニケーション力を身につけようとする人

各専攻等では、これらの人を受け入れるため、多角的かつ総合的な評価による入試の機会を設けます。

【工学専攻（博士前期課程）】

鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科工学専攻では、次のような人を広く受け入れます。

1. 機械宇宙工学、情報エレクトロニクス、化学バイオまたは社会システム土木に関する学士課程相当の専門知識・技術等を身につけている人
2. 工学分野の多様化するニーズに対応できる知識・技術を学び、研究活動を通じて両者を調和させて一体化することのできる広い視野と深い学識を身につけた技術者・研究者を目指す人
3. 高い倫理観を身につけて、持続性社会の創造と発展に貢献する高度の専門性を有する技術者・研究者を目指す人
4. 持続性社会を創生する工学の問題に挑み、対処するための高度な課題発見・解決力とコミュニケーション力を身につけようとする人

工学専攻ではこれらの人を受け入れるため、多角的かつ総合的な評価による選考を行います。

コース一覧

○機械宇宙工学コース

機械宇宙工学コースでは、工学分野の多様なニーズに対応できる人材として、機械工学のみならず、航空宇宙、材料、電子、情報、環境などの様々な工学分野において、既存の枠にとらわれずに学際的な見地から技術開発を進めることができる高度な技術者及び研究者を養成する。さらに、高度な専門知識を修得させるとともに独創性のある研究に従事させることにより、主体的に問題解決に向けてリーダーシップを発揮できる人材を育成することを目的とするとともに、具体的には以下の教育目標を実施する。

- 1 幅広い機械工学の基礎知識や、宇宙工学のような様々な先端的かつ学際的工学分野の礎となる応用数学、力学、物理学などの基礎知識に裏付けられた、より高度な専門知識を身につける。
- 2 自然環境と人間社会の調和を考え、柔軟な発想と洞察力によって、大局的な観点から問題点を把握し、リーダーシップを発揮して、組織的に問題を解決できる力を身につける。

○情報エレクトロニクスコース

20 世紀に発明された携帯電話、インターネット、ロボットなどが、21 世紀に入り、身近なものとなっている。これは、小型化、高速化、高機能化に代表される情報エレクトロニクス分野における技術の進歩によるものである。この分野は、マイクロエレクトロニクス、コンピュータ、人工知能、医療エレクトロニクス、オプトエレクトロニクスなど、多岐にわたっている。これらは独立に発展しているのではなく、互いに深く関連しており、将来のわが国の高度電子情報社会を支える基盤技術となるものである。各専門分野は更なる進展とともに、総合化による進展が望まれており、加えて、従来以上に数学や物理学のような基礎的科目の深い理解も必要となってきた。

このような社会的な要請に応えるため、基礎から応用に渡る研究と教育を行うと同時に、関連分野の広い見識を深め、独創的技術の開発と研究を担うことのできる人材を養成する。

○化学バイオコース

化学工業では、質的な優位性に主眼をおいて新たな工業価値の創造への動きが2つの方向で試みられている。1つは原子や分子のレベルで物質・材料を精密設計するマテリアルサイエンスであり、もう1つは生物を活用して物質生産をはかるバイオテクノロジーである。一般に学問上あるいは技術上の大きなブレークスルーは、2つの分野が結びついたときに起こることが多いといわれている。新技術創出の基礎となる大学院の研究、特に多くの学際領域をもつ化学においては、異なる分野との結びつきがますます重要になっている。最近、生体現象の機構の主要部分は、分子的相互作用による分子識別に由来するとされ、生命観と物質観との壁はなくなりつつあり、それとともに化学と生物学は融合しつつある。本専攻はこのような背景のもとに、化学と生物に基礎をおく物質変換・生産の分野を体系的にとらえ、従来の化学工業における基幹的技術はもちろんのこと、物質生産にかかわる微生物学や遺伝子工学の分野も入れた、新しい化学技術を担う人材を育成するための研究教育を行う。

○社会システム土木コース

社会基盤整備の目的は、各種の施設を計画・建設・維持管理して、豊かで文化的な社会環境を実現することにあるが、その基本的な考え方は、効率優先から環境との調和を重視する方向へと移りつつある。

博士前期課程（2年間）では、高度な専門知識・技術の教授と高度な教育研究により、社会資本の整備、安全で安心な地域の創造と活性化、さらには地球環境の保全に関する情報を社会システム的に分析検討して、快適でかつ活力のある社会を創造するためのハードウェアとソフトウェアの方法論を追及し、これを幅広く実践して快適で豊かな社会を創造していく技術者・研究者を育成することを目的とする。

教育研究分野，担当教員及び研究テーマ※

※募集時点での予定であり，教員の異動等により変更になる場合があります。

①機械宇宙工学コース

教育研究分野		教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
材 料	固体力学	松野 崇 0857-31-5188 matsu■tottori-u.ac.jp 清水 一行 0857-31-5720 ksmz■tottori-u.ac.jp	・金属材料の大変形域変形抵抗の計測とモデル化 ・塑性変形に伴う塑性誘起損傷のマルチスケール解析 ・マイクロ・ナノスケール損傷現象のイメージベース逆解析
	材料工学	陳 中春 0857-31-5707 chen■tottori-u.ac.jp 音田 哲彦 0857-31-6786 onda■tottori-u.ac.jp	・高性能熱電変換材料の創製 ・3D プリントを駆使した革新的高強度・高延性チタン合金の開発 ・マルエージング鋼やステンレス鋼の積層造形 ・セラミックス基複合材料の In-situ 合成およびマルチ酸化効果 ・セラミックス粒子強化アルミニウム基複合材料の合成および高強度化 ・高熱伝導率を有するアルミニウム／炭素系複合材料の開発 ・新規抗ウイルス粉体材料の創製および耐久性の向上
デ ザ イ ン	信頼性・設計工学	小野 勇一 0857-31-5193 ono■tottori-u.ac.jp 西 遼佑 0857-31-5192 nishi■tottori-u.ac.jp	・金属材料の疲労強度評価に関する研究 ・実験応力解析法に関する研究 ・歯車の高強度化に関する研究 ・交通流のモデル化に関する研究 ・交通渋滞緩和の方法論に関する研究
	生産加工学	佐藤 昌彦 0857-31-5195 sato■tottori-u.ac.jp	・金属切削加工 ・機械加工における熱放射温度計測 ・ターンミリングのモデル化 ・フライス切削のびびり安定性モデリング
ロ ボ メ カ	機械力学・ メカトロニクス	田村 篤敬 0857-31-6793 a-tamura■tottori-u.ac.jp 本宮 潤一 0857-31-5475 hongu■tottori-u.ac.jp	・傷害バイオメカニクスに関する研究 ・人体モデリング・生体材料を用いた力学実験 ・衝突解析 ・機械の振動・騒音低減に関する研究 ・機械装置の異常予兆検知技術の開発
	制御・ ロボティクス	辻田 勝吉 0857-31-5198 ktsujita■tottori-u.ac.jp 中谷 真太郎 0857-31-5190 snakatani■tottori-u.ac.jp	・脚移動ロボットの高機能化に関する研究 ・宇宙機の機能設計と運動制御に関する研究 ・人の運動支援システムの開発に関する研究 ・点検・診断・介護ロボットの研究 ・生体信号の計測と処理 ・ブレインマシン・インタフェースのリハビリテーションへの応用
熱 流 体	宇宙推進工学	葛山 浩 0857-31-5205 katsurayama■tottori-u.ac.jp	・レーザー推進式ロケットのエネルギー変換過程の研究 ・レーザー爆轟波の超高速風洞への応用 ・電磁力を用いた大気圏突入用減速機の開発
	流体工学	酒井 武治 0857-31-5202 tsakai■tottori-u.ac.jp 松野 隆 0857-31-5204 matsuno■tottori-u.ac.jp 小田 哲也 0857-31-5206 odate■tottori-u.ac.jp	・大気突入宇宙機熱防衛システム開発 ・熱空力，アブレーション，輻射，表面熱化学反応 ・高温プロセスの数値シミュレーション ・航空機・輸送機器の空力解析と低抵抗化 ・プラズマアクチュエータを用いた流体制御に関する研究 ・流れの数値シミュレーションによる解析・開発 ・液体燃料の微粒化と噴霧燃焼に関する研究 ・噴霧および燃焼の計測法に関する研究 ・エンジンの燃焼解析と排気ガス低減に関する研究

■は@に置き換える。

教育研究分野		教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
数 理 力 学	複雑系数理工学	古川 勝 0857-31-5731 furukawa■tottori-u. ac. jp 大信田 丈志 0857-31-6759 ooshida■tottori-u. ac. jp	・磁場閉じ込め核融合プラズマの磁気流体力学 (MHD) 理論・シミュレーション ・ハミルトン力学理論に基づくプラズマ平衡・安定性解析 ・構造保存数値シミュレーション法 ・コロイド液体の統計物理 ・粉粒体ペーストの弾塑性モデル ・加振した浅水系の流れ
	数理物質科学	灘 浩樹 0857-31-5629 hnada■tottori-u. ac. jp 高江 恭平 0857-31-5630 takeae■tottori-u. ac. jp	・結晶形成機構のメタダイナミクス研究 ・非晶質構造や物質形状の機械学習研究 ・機能性分子による結晶形成制御機構 ・ソフトマター／液体の非平衡ダイナミクス ・ソフトクリスタルにおける相転移現象
	計算理工学・ 物理計算工学	榊原 寛史 0857-31-5725 sakakibara■tottori-u. ac. jp	・第一原理バンド計算を用いた機能材料の性能シミュレーション ・性能シミュレーションのための多体模型の第一原理的導出 ・高精度及び高効率な多体計算手法の開発 ・第一原理計算に基づく強相関超伝導材料の予言 ・励起子転移などのエキゾチック相転移の理論研究 ・薄膜及び超格子などの人工物質の設計
数 理 応 用	ナノシステム 解析学・ 分子流体力学	松岡 広成 0857-31-5759 hiro■tottori-u. ac. jp 土井 俊行 0857-31-6766 doi■tottori-u. ac. jp 石川 功 0857-31-5324 tishikawa■tottori-u. ac. jp	・分子間／表面間相互作用の研究 ・液体／固体超薄膜の研究 ・トライボロジー現象の超高精度計測 ・分子気体／液体潤滑の研究 ・計算トライボロジーの研究 ・情報機器ハードウェアのダイナミクスに関する研究 ・希薄気体の流れの研究
	生体システム 解析学	後藤 知伸 0857-31-5199 goto■tottori-u. ac. jp 中井 唱 0857-31-5499 nakai■tottori-u. ac. jp	・微細な流れの観察及び数値シミュレーション ・微生物の集団及び単独の運動 ・細菌の走化性の観察及び数値シミュレーション ・流体音の発生機構と低減技術 ・流れを伴う開口部の音響インピーダンス計測
	再生可能エネルギー 工学	原 豊 0857-31-6758 hara■tottori-u. ac. jp	・先端技術風車の研究開発 ・風力タービンの数値流体力学解析 ・小形風車の最適配置に関する研究

■は@に置き換える。

②情報エレクトロニクスコース

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
知能制御工学	梶田 大輔 0857-31-5213 kushida■tottori-u. ac. jp 竹森 史暁 0857-31-5212 take■tottori-u. ac. jp	・生体信号に基づく感覚の定量化 ・画像処理に基づく行動評価システム ・意思決定モデリングと経験則の抽出 ・人に対するパワーアシスト制御システムの設計 ・移動ロボットの知的制御
	吉川 宣一 0857-31-6789 nyoshi■tottori-u. ac. jp	・光センシング・光計測 ・デジタルホログラフィ ・立体ディスプレイ ・散乱イメージング
計算機工学	川村 尚生 0857-31-5217 kawamura■tottori-u. ac. jp 高橋 健一 0857-31-5811 takahashi■tottori-u. ac. jp 東野 正幸 0857-31-5810 higashino■tottori-u. ac. jp	・分散システム ・社会情報システム ・エージェントシステム ・ネットワーク・情報セキュリティ
	村田 真樹 0857-31-5548 murata■tottori-u. ac. jp	・自然言語処理 ・情報検索・情報抽出 ・機械学習
知識工学	吉村 和之 0857-31-5223 kazuyuki■tottori-u. ac. jp 清水 忠昭 0857-31-5224 tadaaki■tottori-u. ac. jp	・非線形科学 ・非線形ダイナミクスを用いた情報処理 ・デジタル音声信号処理 ・ニューラルネットワークを用いた信号処理
	木村 周平 0857-31-5227 kimura■tottori-u. ac. jp 徳久 雅人 0857-31-5805 tokuhisa■tottori-u. ac. jp	・進化計算 ・バイオインフォマティクス ・自然言語処理における意味解析および感情推定 ・観光情報の応用
	岩井 儀雄 0857-31-5624 iwai■tottori-u. ac. jp 青木 工太 0857-31-5107 aoki.k■tottori-u. ac. jp	・計算インタラクション ・パターン認識 ・ヒューマンメディア処理 ・拡張現実感
	西山 正志 0857-31-6083 nishiyama■tottori-u. ac. jp	・画像認識 ・映像解析 ・ヒューマンインタフェース
電子情報制御	中川 匡夫 0857-31-5745 nakagawa■tottori-u. ac. jp	・ウェアラブル機器の無線伝送および光無線伝送 ・生体センサの高精度化信号処理 ・高周波回路設計
	笹岡 直人 0857-31-5493 sasaoka■tottori-u. ac. jp	・音声強調 ・デジタル無線通信方式 ・能動騒音制御
	近藤 克哉 0857-31-5699 kondo■tottori-u. ac. jp	・コンピュータビジョン ・バイオ画像解析・医用工学 ・計測制御システムの知能化

■は@に置き換える。

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
電気電子システム	中西 功 0857-31-5132 nakanishi■tottori-u.ac.jp	・デジタル信号処理応用 ・バイオメトリクス個人認証 ・音声信号処理
	大木 誠 0857-31-5688 mohki■tottori-u.ac.jp	・多数目的最適化アルゴリズム ・制約付き多数目的最適化アルゴリズム ・記号・数値混合の組合せ多目的最適化問題
	齋藤 健太郎 0857-31-5697 saitouken■tottori-u.ac.jp	・無線通信システム ・IoT システム ・ドローンの無線通信システムへの活用
	三柴 数 0857-31-5756 mishiba■tottori-u.ac.jp	・画像処理 ・コンピューテーショナルフォトグラフィ
電子物性デバイス	市野 邦男 0857-31-5240 ichino■tottori-u.ac.jp	・光デバイス・電力デバイス用ワイドバンドギャップ半導体の研究 ・高効率太陽電池の研究 ・高効率紫外・可視発光素子の研究
	阿部 友紀 0857-31-5233 abe■tottori-u.ac.jp	・ワイドギャップ化合物半導体の結晶成長に関する研究 ・青-紫外受光デバイス(アバランシェフォトダイオード)の開発 ・青-紫外光変調器の開発 ・高効率紫外発光デバイスの開発
	大観 光徳 0857-31-6700 ohmi■tottori-u.ac.jp	・エレクトロルミネッセンス・ディスプレイの研究 ・植物育成用波長変換膜の研究開発 ・ソーラーパネル用波長変換膜の研究開発 ・白色 LED 照明用蛍光体の研究
	西村 亮 0857-31-5237 ryo■tottori-u.ac.jp	・再生可能エネルギー技術による海水の淡水化などの乾燥地開発 ・静電気および高電圧に関する研究 ・太陽光発電
	李 相錫 0857-31-5961 sslee■tottori-u.ac.jp	・バイオ/ケミカル/医療用 MEMS デバイスの研究開発 ・IoT 用センサと IoT システムに関する研究 ・メタマテリアルの設計及び応用 ・RFMEMS 及び高周波デバイスに関する研究
	松永 忠雄 0857-31-5104 matsunaga■tottori-u.ac.jp	・低侵襲医療 MEMS デバイスの研究開発 ・極細径光ファイバ MEMS センサの研究開発 ・ロボット外科手術用マイクロセンサの研究開発 ・マイクロアクチュエータを用いた触覚ディスプレイの開発 ・非平面基板への微細加工技術の研究

■は@に置き換える。

③化学バイオコース

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
グリーン触媒化学	片田 直伸 0857-31-5684 katada■tottori-u. ac. jp 辻 悦司 0857-31-5257 e-tsuji■tottori-u. ac. jp	・ゼオライト及び固体酸触媒の原理と応用 ・重質油，メタン，バイオマス，廃プラスチックから有用物質への転換に資する触媒及びプロセス開発 ・機能材ナノ造体の合成 ・水電解および二酸化炭素還元用電極触媒・助触媒の開発
無機元素化学	南条 真佐人 0857-31-5516 nanjo■tottori-u. ac. jp	・14 族元素を鍵とするイオン液体の合成と機能性デバイスの創成 ・機能性電子材料を指向した有機ケイ素および有機ゲルマニウム化合物の分子設計と開発
応用電気化学	坂口 裕樹 0857-31-5265 sakaguch■tottori-u. ac. jp 薄井 洋行 0857-31-5634 usui■tottori-u. ac. jp 道見 康弘 0857-31-5249 domi■tottori-u. ac. jp	・リチウムおよびナトリウムおよびカリウム貯蔵性材料の創製とその二次電池への応用 ・全固体二次電池の開発 ・光電変換に基づく新規エネルギー貯蔵材料の開発 ・二次電池電極の反応挙動解析
分子集積化学	松浦 和則 0857-31-5262 ma2ra-k■tottori-u. ac. jp 稲葉 央 0857-31-5331 hinaba■tottori-u. ac. jp	・人工ウイルス構造の創製と応用 ・生体分子の自己組織化によるナノ構造体の構築 ・光応答性生体分子システムの創成 ・微小管内部空間を利用した機能性材料の創製
有機材料化学	赤松 允顕 0857-31-5693 makamatsu■tottori-u. ac. jp	・未利用資源の有効利用 ・生体高分子を用いた機能材料の開発 ・高分子を用いた界面機能の開拓 ・光応答性分子集合体の構築と応用
有機合成化学	野上 敏材 0857-31-5179 tnokami■tottori-u. ac. jp	・分子糖質科学 ・有機電気化学 ・機能性イオン液体
無機材料化学	増井 敏行 0857-31-5264 masui■tottori-u. ac. jp	・環境に優しい色材の合成と応用 ・新しい希土類蛍光体の設計 ・無機系紫外線遮断剤の開発 ・希土類を含有する不均一系触媒の調製
生物機能関連化学	森本 稔 0857-31-5990 m-morimoto■tottori-u. ac. jp	・生体関連高分子の機能化 ・生体関連物質の分析
生物機能開発工学	大城 隆 0857-31-5269 ohshiro■tottori-u. ac. jp 鈴木 宏和 0857-31-5907 hirokazusuzuki■tottori-u. ac. jp 八木 寿梓 0857-31-5948 yagi■tottori-u. ac. jp	・微生物と海藻の新しい機能の発見と応用・開発と基礎研究 ・微生物と海藻の機能を利用する物質生産と環境保全への応用展開研究 ・微生物と海藻における生理活性物質の代謝と次世代炭素源の代謝に関わる酵素と遺伝子の解明 ・高変異性好熱菌を利用した酵素進化工学 ・未利用海洋資源を用いた新規医療素材の開発

■は@に置き換える。

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
生体触媒工学	岡本 賢治 0857-31-5276 okamoto■tottori-u.ac.jp 原田 尚志 0857-31-5946 harada■tottori-u.ac.jp	・担子菌由来の生理活性物質の単離と生産 ・担子菌由来の生理活性物質の作用機序の解明 ・担子菌によるリグノセルロース分解酵素，エタノールおよびキシリトールの生産 ・パスウェイエンジニアリングによる有用イソプレノイドの生産 ・高等植物・微細藻類由来イソプレノイド合成遺伝子の機能同定 ・微細藻類による有用物質生産
蛋白質工学	溝端 知宏 0857-31-5691 mizobata■tottori-u.ac.jp 青木 英莉子 0857-31-5271 eaoki■tottori-u.ac.jp	・タンパク質，酵素の構造と機能相関 ・タンパク質の構造形成 ・タンパク質の安定性とコンフォメーション変化 ・分子シャペロンとアミロイド線維凝集 ・細菌由来膜タンパク質の膜挿入反応 ・細菌タンパク質を標的とする抗菌剤の研究
生物有機化学	花島 慎弥 0857-31-5636 hanashima■tottori-u.ac.jp	・柔軟な構造を持つ生体有機分子：相互作用と生命機能の解明 ・脂質膜に作用する有機分子：開発と作用機構の解明 ・生体分子の有機合成
構造生物学	永野 真吾 0857-31-5273 snagano■tottori-u.ac.jp 日野 智也 0857-31-5744 t_hino■tottori-u.ac.jp 佐藤 裕介 0857-31-5272 yusato■tottori-u.ac.jp	・生理活性物質生成系の構造生物学的研究 ・アナモックス菌の窒素化合物変換の分子基盤 ・動物による熱感知システムの構造生物学的研究 ・膜タンパク質の構造生物学的研究 ・ユビキチンシグナルの構造生物学

■は@に置き換える。

④社会システム土木コース

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
構造・コンクリート工学	谷口 朋代 0857-31-5287 t_tomoyo■tottori-u.ac.jp 野口 竜也 0857-31-6097 noguchit■tottori-u.ac.jp	・土木構造物、機械構造物及び海洋構造物の構造設計 ・土木構造物、機械構造物及び建築構造物の耐震性能 ・土木構造物、機械構造物及び海洋構造物の維持管理 ・地盤・構造物の地震応答特性の評価 ・GIS 及び人工衛星技術を用いた自然災害のハザード評価
	黒田 保 0857-31-5523 tkuroda■tottori-u.ac.jp	・産業副産物のコンクリートへの有効利用 ・コンクリートおよびコンクリート構造物の耐久性評価 ・コンクリートおよびコンクリート構造物の補修・補強 ・コンクリート構造物の劣化予測と維持管理
地盤・岩盤工学	中村 公一 0857-31-5986 nak_x■tottori-u.ac.jp	・飽和土および不飽和土の力学的性質 ・斜面防災とモニタリング
	小野 祐輔 0857-31-5286 ysk■tottori-u.ac.jp 河野 勝宣 0857-31-5755 kohnom■tottori-u.ac.jp	・地盤構造物の地震応答解析 ・地盤災害の数値シミュレーション ・斜面災害のハザード・リスク評価 ・粘土鉱物に着目した土・岩石の物性の解明 ・粘土鉱物を含有した材料による岩盤の力学特性の向上
水工・海岸工学	三輪 浩 0857-31-5295 miwa-h■tottori-u.ac.jp 和田 孝志 0857-31-5284 wada-t■tottori-u.ac.jp	・混合砂礫の移動機構と河床変動予測 ・河道への土砂供給による河床変動、流路変動 ・土砂動態に及ぼす河道構造物の影響 ・土石流流動メカニズムの解明 ・山地～河川～河口域にわたる流砂系内の土砂動態把握
	黒岩 正光 0857-31-5299 kuroiwa■tottori-u.ac.jp 梶川 勇樹 0857-31-5696 kajikawa■tottori-u.ac.jp	・波と海浜流の数値解析モデル ・漂砂と海浜変形予測 ・河口・航路の維持管理 ・沿岸防災とモニタリング ・河川流や津波による地形変化解析
地圏環境	香川 敬生 0857-31-5641 kagawa■tottori-u.ac.jp 塩崎 一郎 0857-31-5642 shiozaki■tottori-u.ac.jp	・強震動予測 ・震源破壊過程・地盤構造が地震動に及ぼす影響 ・地殻・マントル上部構造とダイナミクスの地震学的、地球電磁気学的研究 ・地球電磁気学的手法に基づく地震及び火山の研究
都市計画	福山 敬 0857-31-5312 fukuyama■tottori-u.ac.jp	・地域都市システムの理論・実証分析 ・社会経済モデルによる定量的政策評価手法の開発 ・土木計画学・都市計画
経営システム	長江 剛志 0857-31-5304 nagae■tottori-u.ac.jp	・地域・産業間波及効果を考慮した政策分析のための多地域応用一般均衡モデル分析手法の開発と実証 ・人口減少社会における居住空間/道路空間の設計 ・不確実性下の社会基盤整備事業のマネジメントと財務価格評価 ・土木計画学・交通工学・地域科学・都市経済学
情報システム	桑野 将司 0857-31-5313 kuwano■tottori-u.ac.jp 南野 友香 0857-31-5320 minamino■tottori-u.ac.jp	・生活・交通行動分析手法の開発 ・ビッグデータを用いた計画論 ・土木計画学・交通工学・都市計画 ・サービスの品質管理・評価 ・意思決定モデルの開発
公共システム	谷本 圭志 0857-31-5310 tanimoto■tottori-u.ac.jp 長曽我部 まどか 0857-31-5760 mchoso■tottori-u.ac.jp	・持続的社会システムの計画方法論の開発 ・生活交通システムの計画論 ・生活支援サービスの設計・分析 ・市民参加型計画プロセスの設計 ・地域運営組織の分析・評価

■は@に置き換える。

教育研究分野	教員名 連絡先	研 究 テ ー マ
防災計画・維持管理工学	太田 隆夫 0857-31-5309 ohta■tottori-u.ac.jp 江本 久雄 0857-31-5316 emoto■tottori-u.ac.jp	・避難シミュレーション等に基づくソフト防災 ・沿岸防災施設の性能評価に関する研究 ・社会基盤施設の維持管理モデルに関する研究 ・XR (Cross Reality) と AI による橋梁維持管理支援システムに関する研究 ・舗装路面評価システムに関する研究
環境計画	宮本 善和 0857-31-5318 miyamoto■tottori-u.ac.jp 高部 祐剛 0857-31-5337 takabe.yugo■tottori-u.ac.jp	・流域/環境経営に関する社会デザイン ・環境デザインに関する研究 ・気候変動の適応策としての防災マネジメント ・循環型社会に向けた微生物の応用 ・水質環境の保全, 管理 ・環境配慮型社会システム

■は@に置き換える。

APPLICATION
for
SPECIAL GREEN SUSTAINABLE CHEMISTRY PROGRAM IN COLLABORATION WITH SOUTHWEST ASIA for 2025
(TWO-YEAR PRE-DOCTORAL COURSE)

入学願書
2025年度鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科博士前期課程
南西アジアと結ぶグリーン・サステナブル・ケミストリー特別プログラム

ふりがな 氏名 Name (in print) Signature	印		性別 Sex	受験番号 Examinee No. ※
			男 ・ 女 M ・ F	
国 籍 Nationality		生年月日 Date of Birth	年齢 Age ()	写 真 Photo 4.5cm×3.5cm
現 住 所 Present Address	〒 Tel E-mail address			
合格通知等の連絡先 Mailing Address	〒 Tel E-mail address			
出身大学 Alma Mater	大学 学部 学科		卒業年月 Date of Graduation	
	Course:			
	University:			
	大学大学院 修士課程		研究科 専攻	
	Master's Course: University:		修了・修了見込年月 Date of Completion or Expected Completion	
志 望 専 攻 名 Preferred Department		希望する指導教員氏名 Name of Preferred Primary Supervisor		
志望教育研究分野 Preferred Research Field				
国費外国人留学生 としての採用希望 Apply for Japanese Government (MEXT) Scholarship (University Recommendation)	☐ 大学推薦による国費外国人留学生としての入学希望です I wish to apply for Japanese Government (MEXT) Scholarship (University Recommendation). ※大学推薦による国費外国人留学生として入学希望の者は、☒をいれること If you'd like to enroll in this program as Japanese Government (MEXT) scholar (university recommendation), please fill this box. ☐ 大学推薦による国費外国人留学生としての入学希望ではありません I don't wish to apply for Japanese Government (MEXT) Scholarship (University Recommendation). ※大学推薦による国費外国人留学生として入学希望ではない者は、☒をいれること If you'd like to enroll in this program NOT as Japanese Government (MEXT) scholar (university recommendation) BUT as Privately financed graduate students etc., please fill this box.			

INSTRUCTIONS (記入上の注意)

1. The application should be typed if possible, or neatly handwritten in block letters. (明瞭に記入すること。)
2. Numbers should be in Arabic numerals. (数字は算用数字を用いること。)
3. Years should be written using the Anno Domini system. (年号はすべて西暦とすること。)
4. Proper nouns should be written in full and not abbreviated. (固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。)
 - * Personal data entered in this application will only be used for forming related human networks after the student returns home and for sending of information by our university.)

(本入学願書に記載された個人情報については、帰国後における関係者のネットワークを作ること及び必要に応じ本学より各種情報を送信する以外には使用しない。)

2025年度日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書（研究留学生）〔特別枠〕

2025 APPLICATION FORM FOR JAPANESE GOVERNMENT (MEXT) SCHOLARSHIP
(RESEARCH STUDENTS)

記入上の注意

1. タイプまたは手書きでブロック体で明瞭に記入すること。
2. 数字は算用数字を用いること。
3. 年号はすべて西暦とすること。
4. 固有名詞はすべて正式な名称とし、一切省略しないこと。

本申請書で提供される個人情報については本奨学金の選考、採用後の渡日に係る査証・航空券手配・関係者ネットワークの構築等に係る情報提供のために使用する。提供された個人情報については、業務遂行に必要な範囲で委託先及び関係省庁へ共有する。
本申請書最終ページの「同意欄」にチェックすることで、上記個人情報の取り扱いに同意したものである。

INSTRUCTIONS

1. Type application, if possible, or write neatly by hand in block letters.
2. Use Arabic numerals.
3. Write years in western calendar.
4. Write proper nouns in full without abbreviation.

※ The personal information provided in this application form will be used to provide information relating to the selection for this scholarship, arranging visas and airplane tickets for the student to come to Japan after being selected for the scholarship, and building a network of related persons. The personal information provided will be shared with contractors and the related ministries and agencies to the extent necessary to carry out the work. By checking the “Consent field” box on the final page of this application form, it will be deemed that you have consented to the handling of the personal information above.

1.氏名
Name

アルファベット
Alphabet

Surname（姓）

Given name（名）

Middle name（ミドルネーム）

自国語
Native language

Surname（姓）

Given name（名）

Middle name（ミドルネーム）

※綴りはパスポートの表記と同一にすることWrite your name exactly as it appears in your passport.

2.性別
Gender

☐

男
Male

☐

女
Female

3. 婚姻状況
Marital Status

☐

独身
Single

☐

既婚
Married

写真(4.5cm×3.5cm) Photo
Paste your photo or digital image taken within 6 months. Write your name and nationality on the back of the photo.
6か月以内に撮影した写真またはデジタル画像を貼ること。写真の裏面に名前と国籍を書くこと。

4.国籍
Nationality

5.日本国籍有無
Japanese Nationality

☐

無
NO

☐

有：離脱予定年月
YES: expatriation date

2

0

年
yy

月
mm

6.生年月日
Date of Birth

年
yyyy

月
mm

日
dd

年齢（2025/4/1現在）
Age（As of April 1, 2025）

歳
yrs

※応募者は1990年4月2日以降に出生した者であること。
Applicants must have been born on or after April 2, 1990.

7.(1)現住所
Current Address
※都市名を省略しないこと。
DO NOT OMIT CITY NAME.

都市名
City Name

国名
Country Name

※1 現住所が日本の場合、現在の在留資格の種類
If you currently reside in Japan, what is your current visa status?

※2 既に我が国の在留資格「永住者」、「定住者」等を有している場合であっても、採用後に「留学」に変更する必要がある。なお、国費外国人留学生の身分終了後に改めて「永住者」又は「定住者」の在留資格を申請しても当然には認定されない可能性があることを理解した上で申請すること。Please be aware that even if the applicant applies for the permanent-resident or long-term resident status of residence after the expiration of the status as a Japanese Government Scholarship student, the possibility exists that the application may not be approved.

※3 募集要項1ページ目、1.（1）記載の【国内推薦者の定義】に該当する者については、渡日旅費が不支給となることを理解しているか。（国内推薦については募集要項P1、1.（1）参照。）Do you understand that travel expenses to Japan will not be paid if you fall under the [definition of domestic recommender] stated in Page 1, 1. (1) of the Application Guidelines? (For domestic recommendations, please refer to Page 1, 1. (1) of the Application Guidelines.)

☐

はい
YES

☐

いいえ
NO

(2) 渡日前住所
Your address before departure for Japan
※都市名を省略しないこと。
DO NOT OMIT CITY NAME.

☐

同上 Same as above.

☐

下記住所に変更することが確定している My 'Current Address' above will be changed as follows:

都市名
City Name

国名
Country Name

※1 渡日前の住所が現住所から変更になることが確定している場合（国内推薦者で本奨学金申請後に転居予定の者も含む）は、「(2)渡日前住所」の「下記住所に変更することが確定している」に✓を入れ、住所を記入すること。変更がない場合は「同上」に✓を入れること。*1 If your current address will change before your departure for Japan (including domestic recommenders who plan to move after the application form for this scholarship has been submitted), place a ✓ in the box "My current address above will be changed as follows" of "(2) Your address before departure for Japan" and fill in the address. If you do not plan to change your current address, place a ✓ in the "Same as above" box.

※2 現住所が日本で、転居予定が無い場合は「同上」に✓を入れること。
*2 If your current address is in Japan and you have no plans to move, put a ✓ in the "Same as above" box.

※3 渡日前住所が国籍国と異なる場合は、原則として渡日旅費が不支給となることを理解しているか。If you currently reside in outside your home country, do you understand that, in principle, after selected for MEXT Scholarship Student, you are not provided an airline ticket to Japan?

☐

はい
YES

☐

いいえ
NO

(3)電話番号
Phone number

(4) Email

※可能な限り、渡日前～日本留学中～帰国後にわたり使い続けることが予想されるEmailアドレスを記入すること。
You are suggested to write an email address that can be used continuously before, during and after your stay in Japan.

8.(1)過去に国費外国人留学生に採用されたことがあるか。 Have you been awarded a Japanese Government (MEXT) Scholarship in the past?												☐	いいえ NO	☐	はい YES	
(2)「はい」の場合は以下にその期間、受入学校名を記入し、プログラムを以下の「プログラム区分」から選択すること。 If "YES", please specify the period and the name of the school, and select the Program No. (① to ⑨) from the below 'Program category'.																
期間 Period			年 yyyy	月 mm	～		年 yyyy	月 mm	学校名 Name of school				プログラム Program No.			
期間 Period			年 yyyy	月 mm	～		年 yyyy	月 mm	学校名 Name of school				プログラム Program No.			
期間 Period			年 yyyy	月 mm	～		年 yyyy	月 mm	学校名 Name of school				プログラム Program No.			
プログラム区分 Program category	①研究留学生 Research Students						②学部留学生 Undergraduate Students						③高等専門学校留学生 College of Technology Students			
	④専修学校留学生 Specialized Training College Students						⑤日本語・日本文化研修留学生 Japanese Studies Students						⑥教員研修留学生 Teacher Training Students			
	⑦日韓共同理工系学部留学生 Japan-Korea Joint Government Scholarship Program for the Students in Science and Engineering Departments						⑧ヤング・リーダーズ・プログラム留学生 Young Leaders' Program						⑨スーパーグローバル大学創成支援事業 Top Global University Project			
※過去に受給した奨学金が文部科学省奨学金に該当する与否か不明の場合は事前に入学希望大学の担当者に相談すること。If you are unsure whether previously awarded financial aid corresponds to a MEXT Scholarship or not, please consult in advance with staffs at the university in Japan you wish to attend.																
(3)上記にて①、②(特別枠の学部留学生として学位を取得又は取得見込みのものを除く)、③、④、⑥又は⑨のプログラムを選択した者は、前回の受給終了から本奨学金支給開始時までに3年以上の学業又職務経歴があるか。またその際の所属機関名、教育研究の内容、期間を記入すること。(3) If you marked program ①, ② (excluding those who have obtained or are expected to obtain a degree as undergraduate students of the Japanese Government (MEXT) scholarship programs (university recommendation/special selection)), ③, ④, ⑥ or ⑨ above, do you have at least three years of educational or work experience following the end of the payment of the previous scholarship and the start of this scholarship? If yes, please specify the name of the organization of affiliation, the content of the education and research, and the period.												☐	はい YES	☐	いいえ NO	
①	機関名 Name of institution							内容 Content								
	期間 Duration	From		年 yyyy	月 mm	～	To		年 yyyy	月 mm		年 yrs	か月 mons			
②	機関名 Name of institution							内容 Content								
	期間 Duration	From		年 yyyy	月 mm	～	To		年 yyyy	月 mm		年 yrs	か月 mons			
③	機関名 Name of institution							内容 Content								
	期間 Duration	From		年 yyyy	月 mm	～	To		年 yyyy	月 mm		年 yrs	か月 mons			
通算教育研究期間(本奨学金支給開始時点) Total period of experience of education/research (As of the beginning of the payment of this scholarship) ※①～③の合計は3年以上であること。*The sum of ① to ③ must be over 3 years.													年 yrs		か月 mons	
9. 日本政府(文部科学省)奨学金制度による他の2025年度奨学金支給開始のプログラムに併願しているか。それらの日本政府(文部科学省)奨学金との併願は認められない。 Are you applying for any other Japanese Government (MEXT) Scholarships for which scholarship payments will begin in fiscal 2025? It is not allowed to apply for other Japanese government (MEXT) Scholarships at the same time.												☐	いいえ NO	☐	はい YES	
10.(1) 本制度による奨学金と重複し、日本政府(文部科学省)以外の機関(自国政府機関を含む)から奨学金等を受給、または受給予定であるか。 Are you receiving or scheduled to be receiving any scholarship from any organization other than the Japanese Government (MEXT) (including an organization of your home country government) together with the MEXT Scholarship?												☐	いいえ NO	☐	はい YES	
(2) 他の奨学金に応募又は他の奨学金を受給している場合は、その名前、期間、金額等を記すこと。 If you are receiving or applying for other scholarships, please specify the name of the sponsor, scholarship period, scholarship amount, etc.																
奨学金の内容 Describe the scholarship																

11. 学歴 Academic record													
INSTRUCTIONS													
1. 幼稚園・保育所教育は含まれない。 2. 「大学予備教育」は後期中等教育に含まれる。 3. 「大学入学資格試験」に合格している場合には、その旨「特記事項」欄に記入すること。 4. 「飛び級」をしている場合には、その旨を「特記事項」欄に記入すること。(例) 高校3年次を飛び級により短期卒業) 5. 住居の移転や大学の再入学等を理由に、同教育課程で複数の学校に在籍していた場合は、同じ欄に複数の学校の在籍を記載し、すべての修学状況を修学年数に含めること。 6. 修了済みの課程年数合計は在籍期間を算出し、記入すること。(長期休暇も含める) 7. 下記に書ききれない場合は、別紙に記入することも可能。しかしその場合は、別紙に記入する旨を明記すること。													
1. Exclude kindergarten education and nursery school education. 2. Preparatory education for university admission is included in upper secondary education. 3. If the applicant has passed the university entrance qualification, indicate this in the Remarks column. 4. Any school years or levels skipped should be indicated in the Remarks column. Example: Skipped senior year for the early graduation. 5. If you attended multiple schools at the same level of education due to moving house or readmission to university, then write the schools in the same column and include the number of years of study and current status for each school. 6. Calculate and write the total number of years studied based on the duration as a student. (including extended leaves such as summer vacation) 7. You may use a separate piece of paper if the space below is insufficient. In such a case, please stipulate that the information is on a separate page.													
初等教育 (小学校) Primary Education (Elementary School)	学校名 Name of school												
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation		年 yrs			
	特記事項 Remarks												
前期中等教育 (中学校) Lower Secondary Education (Middle School/Junior High School)	学校名 Name of school												
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation		年 yrs			
	特記事項 Remarks												
後期中等教育 (高校) Upper Secondary Education ((Senior) High School)	学校名 Name of school												
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation		年 yrs			
	特記事項 Remarks												
高等教育 (大学学部) Tertiary(Higher) Education (Undergraduate)	学校名 Name of school						学部名 Name of Faculty						
	所在地 Location	州・省 State/Province						市・町 City/Town					
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation		年 yrs			
	修了状況(※渡日時点) Status(*As of arrival in Japan)	☐	修了 Completed	☐	修了見込 Expected to complete	☐	退学 Withdrawal	☐	その他※特記事項欄に詳細を記入すること Other *Fill in the details in the Remarks column below.				
	学位 Degree	☐	学士 Bachelor-level										
	特記事項 Remarks												
高等教育 (大学院) Tertiary (Higher) Education (Graduate)	学校名 Name of school						学科名 Name of Department						
	所在地 Location	州・省 State/Province						市・町 City/Town					
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation		年 yrs			
	修了状況(※渡日時点) Status(*As of arrival in Japan)	☐	修了 Completed	☐	修了見込 Expected to complete	☐	退学 Withdrawal	☐	その他※特記事項欄に詳細を記入すること Other *Fill in the details in the Remarks column below.				
	学位 Degree	☐	学士 Bachelor-level	☐	修士 Master-level	☐	博士 Doctor-level						
	特記事項 Remarks												
高等教育 (大学院) Tertiary (Higher) Education (Graduate)	学校名 Name of school						学科名 Name of Department						
	所在地 Location	州・省 State/Province						市・町 City/Town					
	から From	年 yyyy	月 mm	～	まで To	年 yyyy	月 mm	修業年限 Period required for graduation		年 yrs			
	修了状況(※入学時点) Status(*As of arrival in Japan)	☐	修了 Completed	☐	修了見込 Expected to complete	☐	退学 Withdrawal	☐	その他※特記事項欄に詳細を記入すること Other *Fill in the details in the Remarks column below.				
	学位 Degree	☐	学士 Bachelor-level	☐	修士 Master-level	☐	博士 Doctor-level						
	特記事項 Remarks												
入学時点で修了済みの課程年数合計 Total years of education you will complete as of enrolment in the university in Japan												年 yrs	

12.過去に専攻した専門分野(できるだけ具体的に詳細に書くこと。) Field of specialization studied in the past (Be as detailed and specific as possible.)														
13.過去に論文を執筆したことがあるか Have you ever written a thesis?			☐	ある YES			☐	ない NO						
14.著書、論文(卒業論文を含む。)があればその題名、出版社名、出版年月日、出版場所を記入すること。 State the titles or subjects of books and papers (including graduation thesis) authored by applicant, if any, with the name, address of publisher and the date of publication.														
15.日本における最初の入学希望課程 The first course you plan to take in Japan			☐	修士課程 Master's degree course			☐	博士課程 Doctoral course			☐	専門職学位課程 Professional graduate course		
16.日本における最終的な希望留学期間 Term you wish to study in Japan			☐	修士課程修了まで Up to the completion of master's degree program			☐	博士課程修了まで Up to the completion of doctoral program			☐	専門職学位課程修了まで Up to the completion of the professional graduate program		
17.現職の有無 Do you currently have a job?		☐	いいえ NO		☐	はい YES		勤務先名 Employer's name						
18.職歴(直近2つまで記入すること。アルバイトは除く。) Employment record: Write the 2 most recent employment and exclude part-time work.														
勤務先及び所在地 Name and location of organization			勤務期間 Period of employment			役職名 Position			職務内容 Type of work					
			From To											
			From To											

19. 語学力 Language ability		読む能力 Reading		書く能力 Writing		話す能力 Speaking		聴く能力 Listening	
日本語 Japanese									
英語 English									
その他 Others ()									
※3から0で評価すること Rate on a scale of 3 to 0.									
		3＝優 Excellent		2＝良 Good		1＝可 Fair		0＝不可 Poor	
20. 日本語能力(資格) Japanese language qualifications		日本語能力試験 JLPT		レベル level		総合得点 Total Score		その他の資格名 Name of other qualification	得点等 Score, etc.
21. 英語能力(資格) English language qualifications		TOEFL	iBT		IELTS		その他の資格名 Name of other qualification		得点等 Score, etc.
			Other type ()						
※資格・検定試験のスコアの有効期限は、当プログラムの公募開始日から2年以内になります。 The effective expiration period for qualifications or proficiency test scores is within two years from the application start date for this program.									
22. 同伴家族欄(渡日する同伴予定の家族がいる場合に記入すること。) Accompanying Dependents (Provide the following information if you plan to bring any family members to Japan.)									
※なお、同伴者に必要な経費はすべて採用者の負担であるが、家族用の宿舎を見つけることは相当困難であり賃貸料も非常に割高になるのであらかじめ承知しておくこと。このため、採用者はまず単身で来日し、適当な宿舎を見つけた後、家族を呼び寄せること。 All expenses incurred by the presence of dependents must be borne by the grantee. He/She is advised to take into consideration the various difficulties and great expense that will be involved in finding living quarters for them. Therefore, those who want to accompany their families are well advised to come alone first and let them come after suitable accommodation has been found.									
氏名 Name		続柄 Relationship		年齢 Age		国籍 Nationality			
23. 緊急の際の母国の連絡先 Person to be notified in applicant's home country in case of emergency.									
氏名 Name						続柄 Relationship			
現住所 Current address						職業 Occupation			
電話番号／FAX番号 Phone / Facsimile number				Email					
24. 日本への渡航及び滞在歴 Past visits or stays in Japan List from your most recent visits.									
期間 Period						渡航目的 Purpose			
From		年 yyyy	月 mm	～	To		年 yyyy	月 mm	
From		年 yyyy	月 mm	～	To		年 yyyy	月 mm	
私は2025年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生募集要項に記載されている事項をすべて了解し、上記の通り申請資格を満たしていることを確認の上、申請します。 I understand and accept all the matters stated in the Application Guidelines for Japanese Government (MEXT) Scholarship for FY2025 and upon confirmation of my qualifications for application as stated above, I hereby apply for this scholarship.									☐ 同意欄 Consent field
申請年月日 Date of application		20 年 / 月 / 日 year month day							

専攻分野及び研究計画
Field of Study and Research Plan

Name in full,
in your native language

(姓名(自国語)) _____ , _____
(Surname) (Given name) (Middle name)

Name in Roman capital letters
(姓名(ローマ字))

_____, _____
(Surname) (Given name) (Middle name)

Nationality
(国 籍)

Proposed study program in Japan (Outline your field of study on this side and the specific of your study program on the reverse side of this sheet. This section is one of the most important references for selection. The statement must be typewritten or written in block letters. Additional sheets of paper may be attached if necessary. If plagiarism or fraud is discovered after selection, the selection will be cancelled retroactively.)

(日本での研究計画;この研究計画は、選考の重要な参考となるので、表面に専攻分野の概要を、裏面に研究計画の詳細を具体的に記入すること。記入はタイプ又は楷書によるものとし、必要な場合は別紙を追加してもよい。なお、採用後に不正、盗用等が判明した場合は遡って採用を取り消す。)

If you have Japanese language ability, write in Japanese. (相当の日本語能力を有する者は、日本語により記入すること。)

1 Present field of study(現在の専攻分野)

2 Your research topic in Japan: Describe articulately the research you wish to carry out in Japan.

(渡日後の研究テーマ:日本においてどういった研究がしたいかを明確に記入すること)

3 Study program in Japan: (Describe in detail and with specifics – particularly concerning the ultimate goal(s) of your research in Japan)

(研究計画: 詳細かつ具体的に記入し、特に研究の最終目標について具体的に記入すること。)

健康診断書
CERTIFICATE OF HEALTH (to be completed by the examining physician)

日本語又は英語により明瞭に記載すること。
Please fill out (PRINT/TYPE) in Japanese or English.

氏名 Name: _____
Family name, First name Middle name

☐男 Male 生年月日 Date of Birth: _____ 年齢 Age: _____
☐女 Female

1. 身体検査
Physical Examinations

(1) 身長 Height _____ cm 体重 Weight _____ kg

(2) 血圧 Blood pressure _____ mmHg ~ _____ mmHg 血液型 Blood Type

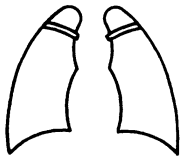
A	B	O	+
			RH -

脈拍 Pulse ☐整 regular
☐不整 irregular

(3) 視力 Eyesight: (R) _____ (L) _____
裸眼 without glasses 矯正 with glasses or contact lenses

(4) 聴力 Hearing: ☐正常 normal 言語 speech: ☐正常 normal
☐低下 impaired ☐異常 impaired

2. 申請者の胸部について、聴診とX線検査の結果を記入してください。X線検査の日付も記入すること（6ヶ月以上前の検査は無効。）
Please describe the results of physical and X-ray examinations of applicant's chest X-ray (X-ray taken more than 6 months prior to the certification is NOT valid).



肺 lung: ☐正常 normal
☐異常 impaired

← Date _____
Film No. _____

Describe the condition of applicant's lung.

心臓 Cardiomegaly: ☐正常 normal
☐異常 impaired

↓ 異常がある場合
心電図

Electrocardiograph: ☐正常 normal
☐異常 impaired

3. 現在治療中の病気 ☐Yes (Disease: _____)
Disease Treated at Present ☐No

4. 既往症
Past history: Please indicate with + or - and fill in the date of recovery

Tuberculosis.....☐ (. . .) Malaria.....☐ (. . .) Other communicable disease.....☐ (. . .)
Epilepsy.....☐ (. . .) Kidney Disease.....☐ (. . .) Heart Diseases.....☐ (. . .)
Diabetes.....☐ (. . .) Drug Allergy.....☐ (. . .) Psychosis.....☐ (. . .)
Functional Disorder in extremities.....☐ (. . .)

5. 検査 Laboratory tests
検尿 Urinalysis: glucose (), protein (), occult blood ()

赤沈 ESR: _____ mm/Hr, WBC count: _____ /mm³ 貧血 ☐
anemia

Hemoglobin: _____ mg/dl, GPT: _____

6. 診断医の印象を述べて下さい。
Please describe your impression.

7. 志願者の既往歴、診察・検査の結果から判断して、現在の健康の状況は十分に留学に耐えうるものと思われますか？
In view of the applicant's history and the above findings, is it your observation his/her health status is adequate to pursue studies in Japan?
yes ☐ no ☐

日付 Date: _____ 署名 Signature: _____

医師氏名 Physician's Name in Print: _____

検査施設名 Office/Institution: _____
所在地 Address: _____

誓 約 書

A written pledge

私はこの申請(鳥取大学による大学推薦)の他に、以下の奨学金を重複して申請していないことを誓約します。

I swear not to apply for the following scholarships besides the application to Tottori University.

1. 他大学との重複申請(大学推薦による国費外国人留学生奨学金制度)

Repeated application with another university
(International students of National Scholarship System by “Nominated by a university”)

2. 大使館推薦(国費外国人留学生奨学金制度)

International students of National Scholarship System by “Nominated by an Embassy”

3. 独立行政法人日本学生支援機構による、留学生交流支援制度

Short-term Student Exchange Promotion Program by Japan Student Services Organization (JASSO)

4. 日本の独立行政法人等による奨学金等のうち、併給が禁止されているもの

Scholarships by Japanese independent administrative agencies, etc., which are prohibited from being paid concurrently

誓約日 年 月 日
Date of pledge Year Month Day

申請者氏名

Applicant's Name

申請者署名(電子署名可)

Applicant's Signature

(electronic signature is available)

私は、受入予定教員として上記の誓約書の内容を確認した。

I confirmed the above-mentioned contents as a guidance professor in Japan.

確認日 年 月 日
Date of confirmation Year Month Day

受入予定教員氏名

Guidance professor's Name

印

Seal